

令和6年度 財政状況資料集

総括表（都道府県）

都道府県名	佐賀県		職員の状況（※7）				区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)		歳入総額							
グループ	D		特別職等	知事	1	12,600		歳入総額	540,929,298	555,571,022	実質収支比率	2.2	3.6	
				副知事	2	9,900		歳出総額	528,311,388	539,531,062	経常収支比率	96.0	93.9	
				教育長	1	8,100		歳入歳出差引	12,617,910	16,039,960	(※1)	(96.3)	(94.4)	
				議会議長	1	9,900		翌年度に繰越すべき財源	6,510,115	6,400,755	標準財政規模	274,027,726	267,714,418	
人口	令和2年国調(人)	811,442	一般職員等(※5)	議会副議長	1	8,600		実質収支	6,107,795	9,639,205	財政力指数	0.36078	0.34120	
	平成27年国調(人)	832,832		議会議員	35	8,000		単年度収支	-3,531,410	-1,441,301	公債費負担比率	18.3	18.4	
	増減率(%)	-2.6		積立金				4,785,259	5,493,451	健全化判断比率				
住民基本台帳人口(※6)	令07.01.01(人)	794,252	区分	職員数(人)		1人あたり平均給料月額(百円)		繰上償還金	16,128	24,166	実質赤字比率	-	-	
	うち日本人(人)	783,077		一般職員	4,179	13,410,411	3,209	積立金取崩し額	5,100,000	5,700,000	連結実質赤字比率	-	-	
	令06.01.01(人)	801,051		うち消防職員	-	-	-	実質単年度収支	-3,830,023	-1,623,684	実質公債費比率	10.6	9.7	
	うち日本人(人)	791,450		うち技能労務職員	43	136,224	3,168	基準財政収入額	92,870,141	88,341,779	将来負担比率	137.2	135.3	
	増減率(%)	-0.8		警察官	1,716	5,554,692	3,237	基準財政需要額	250,883,293	245,068,692	資金不足比率(※4)			
面積(km ²)	2,441		教育公務員	7,640	27,471,004	3,596	標準税収入額等	115,328,307	109,543,485					
人口密度(人/km ²)	325		臨時職員	-	-	-	警察官	265,661,058	253,206,071					
世帯数(世帯)	312,680		合計	13,535	46,436,107	3,431	教育公務員	349,763,795	341,496,867					
			ラスバイレス指数	99.6			地方債現在高	737,606,809	750,843,598					
							うち公的資金	219,629,222	222,663,960					
							地方債現在高(臨時財政対策債除き)	525,073,600	513,658,791					
							債務負担行為額(支出予定額)	46,560,218	47,550,556					
							収益事業収入	2,425,497	2,573,824					
							定額運用基金	9,238,241	9,234,695					
							土地開発基金	6,117,369	6,115,812					
							積立金現在高							
							財政調整基金	17,482,571	17,797,312					
							減債基金	18,854,059	17,165,734					
							その他特定目的基金	27,717,001	40,492,722					

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(11)	国民健康保険事業特別会計	(12)	佐賀県工業用水道事業会計	(13)	佐賀県港湾整備事業特別会計			(15)	佐賀県国際交流協会	
(2)	災害救助基金特別会計					(14)	佐賀県産業用地造成事業特別会計			(16)	佐賀県女性と生涯学習財団	
(3)	母子父子寡婦福祉資金特別会計									(17)	佐賀県地域福祉振興基金	
(4)	就農支援資金特別会計									(18)	佐賀県長寿社会振興財団	
(5)	小規模企業者等設備導入等事業支援特別会計									(19)	佐賀県機器バンク	
(6)	財政調整積立金特別会計									(20)	佐賀県食肉肉衛生協会	
(7)	証紙特別会計									(21)	佐賀県芸術文化協会	
(8)	土地取得特別会計									(22)	佐賀県産業振興機構	
(9)	林業改善資金特別会計									(23)	佐賀県農業公社	
(10)	沿岸漁業改善資金特別会計									(24)	佐賀県森林整備担い手育成基金	

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

※6: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※7: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）				道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	125,820,794	23.3	95,555,366	34.6	普通税	125,662,819	99.9	808,075
地方譲与税	18,981,854	3.5	18,981,854	6.9	法定普通税	121,667,199	96.7	808,075
地方揮発油譲与税	1,274,045	0.2	1,274,045	0.5	道府県民税	27,783,603	22.1	808,075
特別とん譲与税	-	-	-	-	個人均等割	634,441	0.5	204,041
石油ガス譲与税	40,279	0.0	40,279	0.0	所得割	22,504,869	17.9	-
自動車重量譲与税	112,381	0.0	112,381	0.0	法人均等割	1,040,675	0.8	49,788
航空機燃料譲与税	10,783	0.0	10,783	0.0	法人税割	1,292,088	1.0	554,246
森林環境譲与税	43,364	0.0	43,364	0.0	利子割	107,549	0.1	-
特別法人事業譲与税	17,501,002	3.2	17,501,002	6.3	配当割	996,063	0.8	-
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	株式等譲渡所得割	1,207,918	1.0	-
地方特例交付金等	2,846,382	0.5	2,846,382	1.0	事業税	26,333,980	20.9	-
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	550,980	0.1	550,980	0.2	個人分	1,125,690	0.9	-
定額減税減収補填特例交付金	2,295,402	0.4	2,295,402	0.8	法人分	25,208,290	20.0	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	-	-	-	-	地方消費税	43,688,817	34.7	-
地方交付税	160,913,849	29.7	158,010,948	57.3	不動産取得税	2,356,786	1.9	-
普通交付税	158,010,948	29.2	158,010,948	57.3	道府県たばこ税	1,065,107	0.8	-
特別交付税	2,901,077	0.5	-	-	ゴルフ場利用税	298,260	0.2	-
震災復興特別交付税	1,824	0.0	-	-	軽油引取税	8,789,389	7.0	-
（一般財源計）	308,562,879	57.0	275,394,550	99.8	自動車税	11,160,278	8.9	-
交通安全対策特別交付金	227,370	0.0	227,370	0.1	鉱区税	231	0.0	-
分担金・負担金	1,985,034	0.4	-	-	固定資産税特例	190,748	0.2	-
使用料	4,066,850	0.8	281,880	0.1	法定外普通税	3,995,620	3.2	-
手数料	1,284,534	0.2	4,998	0.0	目的税	157,975	0.1	-
国庫支出金	70,868,960	13.1	-	-	法定目的税	7,932	0.0	-
国有提供交付金	-	-	-	-	狩猟税	7,932	0.0	-
財産収入	1,042,839	0.2	13,536	0.0	法定外目的税	150,043	0.1	-
寄附金	1,482,644	0.3	-	-	旧法による税	-	-	-
繰入金	27,305,890	5.0	-	-	合計	125,820,794	100.0	808,075
繰越金	16,039,960	3.0	-	-				
諸収入	58,668,330	10.8	28,121	0.0				
地方債	49,394,008	9.1	-	-				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	688,000	0.1	-	-				
歳入合計	540,929,298	100.0	275,950,455	100.0				

区分		令和6年度		令和5年度	
徴収率 (%)	合計	99.4	99.2	99.4	99.1
	道府県民税	99.2	98.1	99.2	98.1
	事業税	99.9	99.9	99.9	99.8
国民健康保険	実質収支	608,338	509,737		
事業会計の状況	再差引収支	608,338	509,737		

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	1,071,296	0.2	-	1,071,296
総務費	50,864,414	9.6	4,154,419	35,592,114
民生費	72,956,274	13.8	985,887	65,186,795
衛生費	17,270,714	3.3	2,209,787	11,717,826
労働費	1,368,989	0.3	36,342	810,107
農林水産業費	32,421,383	6.1	20,170,197	12,411,503
商工費	66,050,765	12.5	4,659,441	14,528,633
土木費	68,218,024	12.9	60,455,201	13,613,049
警察費	22,013,138	4.2	1,541,354	19,488,025
消防費	-	-	-	-
教育費	99,870,499	18.9	4,184,243	75,638,160
災害復旧費	5,321,008	1.0	-	47,347
公債費	65,573,194	12.4	-	63,873,239
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	37,890	0.0	-	37,890
配当割交付金	581,429	0.1	-	581,429
株式等譲渡所得割交付金	717,771	0.1	-	717,771
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	21,506,844	4.1	-	21,506,844
ゴルフ場利用税交付金	208,854	0.0	-	208,854
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	321,981	0.1	-	321,981
法人事業税交付金	1,936,921	0.4	-	1,936,921
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	528,311,388	100.0	98,396,871	339,289,784

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	205,366,514	38.9	181,624,455	181,155,568	65.5
人件費	128,527,545	24.3	111,624,974	111,183,379	40.2
うち職員給	93,247,956	17.7	81,724,313	81,724,313	29.5
扶助費	11,268,606	2.1	6,129,073	6,102,378	2.2
公債費	65,570,363	12.4	63,870,408	63,869,811	23.1
元利償還金	65,569,766	12.4	63,869,811	63,869,811	23.1
うち元金	62,630,797	11.9	61,112,989	61,112,989	22.1
うち利子	2,938,969	0.6	2,756,822	2,756,822	1.0
一時借入金利子	597	0.0	597	597	0.0
その他の経費	219,226,995	41.5	140,594,733	84,505,490	30.5
物件費	22,929,177	4.3	17,549,683	13,777,155	5.0
維持補修費	2,549,258	0.5	1,548,038	1,543,750	0.6
補助費等	122,390,556	23.2	103,230,729	64,044,012	23.2
繰出金	5,354,498	1.0	5,166,431	5,127,927	1.9
積立金	15,046,151	2.8	13,086,187	-	-
投資及び出資金	-	-	-	-	-
貸付金	50,957,355	9.6	13,665	12,646	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	103,717,879	19.6	17,070,596	-	-
うち人件費	1,098,592	0.2	375,139	-	-
普通建設事業費	98,396,871	18.6	17,023,249	-	-
うち補助	50,362,000	9.5	1,317,783	-	-
うち単独	40,787,512	7.7	15,514,857	-	-
災害復旧事業費	5,321,008	1.0	47,347	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	528,311,388	100.0	339,289,784	-	-

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

令和6年度 佐賀県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

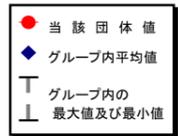
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	552,290	541,317	10,973	6,016	23,574	739,465	
2 災害救助基金特別会計	14	14	0	-	14	-	
3 母子父子寡婦福祉資金特別会計	247	185	63	-	41	47	
4 就農支援資金特別会計	41	25	16	-	0	12	
5 小規模企業者等設備導入等事業支援特別会計	89	28	61	-	5	802	
6 財政調整積立金特別会計	9,885	9,885	0	-	9,885	-	
7 証紙特別会計	2,509	2,417	92	92	-	-	
8 土地取得特別会計	186	186	0	-	-	-	
9 林業改善資金特別会計	138	32	105	-	0	-	
10 沿岸漁業改善資金特別会計	282	0	282	-	0	-	
11 公債管理特別会計	102,531	102,531	0	-	74,759	-	
12 育英資金特別会計	1,627	600	1,026	-	2	-	
13 地方独立行政法人佐賀県農産センター好生園貸付金特別会計	2,123	2,123	0	-	-	13,509	
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							

(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

令和6年度

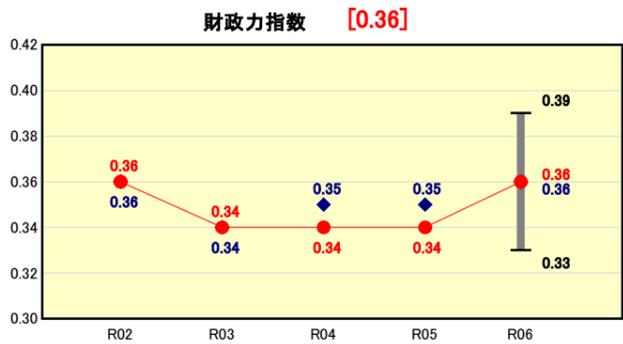
佐賀県

人口	794,252人 (R7.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	783,077人 (R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	2,440.64km ²	実質公債費比率	10.6 %
歳入総額	540,929,298千円	将来負担比率	137.2 %
歳出総額	528,311,388千円	グループ	R02 D R03 D R04 D
実質収支	6,107,795千円	(年度毎)	R05 D R06 D
標準財政規模	274,027,726千円		
地方債現在高	737,606,809千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。
 ※ 「定員管理の状況」の「人口10万人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力



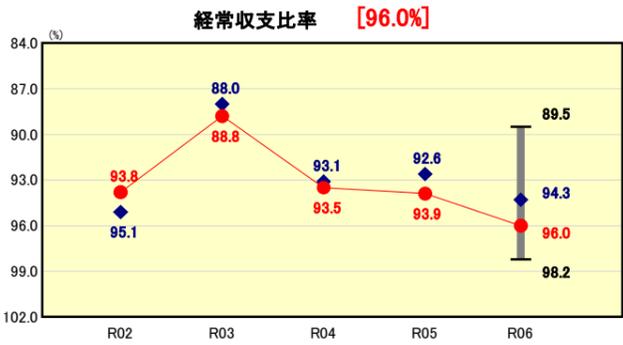
グループ内順位 4/12 都道府県平均 0.51

財政力指数の分析欄

基準財政収入額の増加割合が、基準財政需要額の増加割合を上回ったため、財政力指数は0.02ポイント増加し、グループ内平均と同水準の0.36となった。基準財政需要額の増は、子ども子育て費の新設による増、基準財政収入額の増は、特別法人事業譲与税の増等が主な要因である。

今後、社会保障関係経費の増高等により歳出の増加が見込まれるため、県税収入をはじめとする歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

財政構造の弾力性



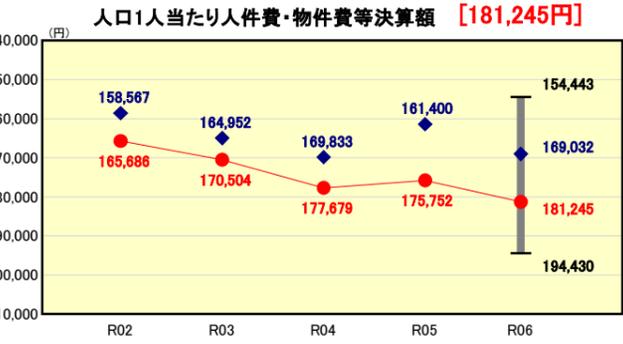
グループ内順位 9/12 都道府県平均 92.2

経常収支比率の分析欄

経常収支比率は、グループ内平均と同水準。R6年度は、定年延長に伴い退職手当が増加したことなどにより、2.1ポイント増加した。

今後、子ども・子育て支援の充実や医療・介護サービス保障の強化等により、社会保障関係経費が増加することや、公債費が引き続き高い水準で推移することが見込まれ、財政構造の硬直化が懸念されることから、「佐賀県行財政運営計画2023」に基づき、財政健全化を図っていく。

人件費・物件費等の状況



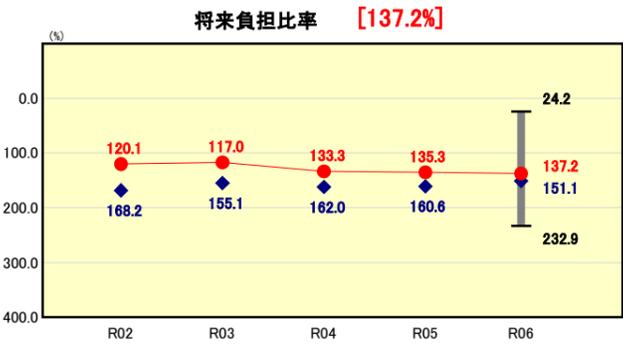
グループ内順位 11/12 都道府県平均 121,410

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

グループ内平均と比較して高い水準となっているが、これは人口規模が小さいため、住民一人当たりの人件費が類似団体と比較して多いことが主な要因である。

引き続き、「佐賀県行財政運営計画2023」の取組にもある総人件費の適切な管理に基づき、効率的かつ機動的な人員配置により、限られた経営資源の効果的な活用を図る。また、職員給与等においては、国や他県の状況、社会情勢を踏まえ、適切な見直しを行う。

将来負担の状況



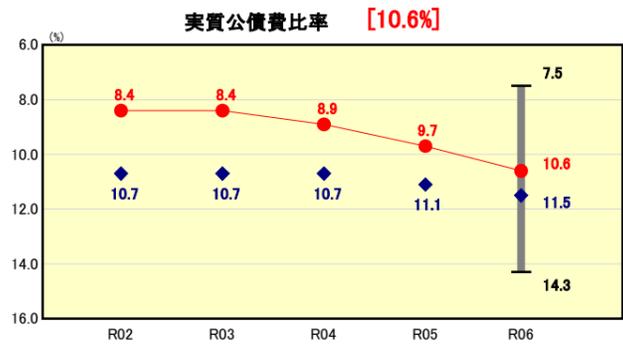
グループ内順位 4/12 都道府県平均 144.1

将来負担比率の分析欄

将来負担比率は、都道府県平均、グループ内平均を下回っている。前年から1.9ポイント増加した主な要因は、公共施設等適正管理推進事業債をはじめとする単独事業債や防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債の残高が増加したことである。

今後、社会保障関係経費の増高や、物価や人件費の高騰、金利上昇に伴う公債費の増などにより歳出の増加が見込まれるため、引き続き、県税収入をはじめとする歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

公債費負担の状況



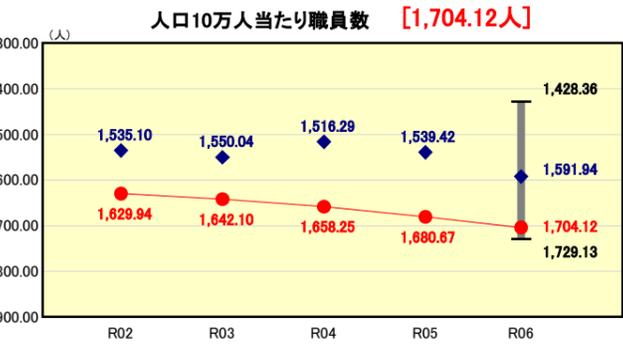
グループ内順位 3/12 都道府県平均 10.1

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は、都道府県平均は上回ったものの、グループ内平均を下回っている。前年から0.9ポイント増加した主な要因は、過去に発行した財源対策債等の償還額が低減する一方、単独事業債等の償還額が増加したことである。

今後は大型事業の実施に伴い発行した県債の償還開始に加え、最近の地方債金利の上昇も重なり今後も公債費は高い水準で推移することが見込まれるため、引き続き、有利な県債の活用や公債費の平準化に取り組むとともに、直近の金利環境を踏まえ借入パターンの多様化により金利リスクの分散を図ることで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

定員管理の状況



グループ内順位 11/12 都道府県平均 1,092.80

人口10万人当たり職員数の分析欄

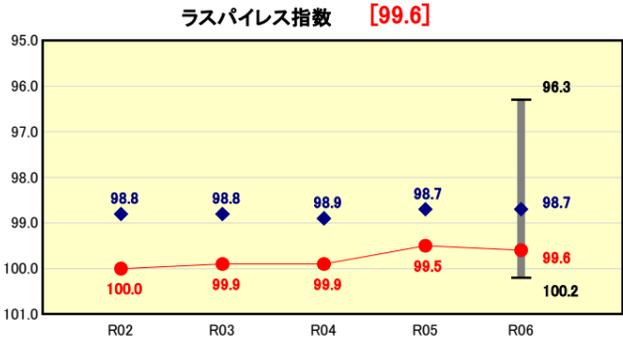
平成30年度以降、人口10万人当たりの職員数は微増し続けている。

主な要因は、令和6年度に開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、任期付を含め、職員を積極的に採用していたため。

大会終了後、任期付職員の退職等により、職員数は減少している。

また、令和5年3月に策定した「佐賀県行財政運営計画2023」に基づき、社会経済情勢の変化や多様化・高度化する県民ニーズ、危機事象等に適切に対応するため、限られた経営資源(人員)を適切に管理し、定数管理の適正化に努める。

給与水準(国との比較)



グループ内順位 9/12 都道府県平均 99.7

ラスパイレス指数の分析欄

本県のラスパイレス指数は、前年から0.1ポイント増。

平成27年度の給与制度の総合的見直し以降、国家公務員は、主に手当を引き上げることにより官民格差を解消したところ、本県は、主に給料を引き上げることで官民格差を解消することとしていたことから、給料のみを比較するラスパイレス指数は高止まりの状況が続いていた。

その後は、本県の給与改定が国の改定率よりも低い率での改定となったことや組織の新陳代謝等により通減していたが、令和6年度は国の改定率よりも高い率での改定となったこと等により0.1ポイントの増となった。

(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

佐賀県

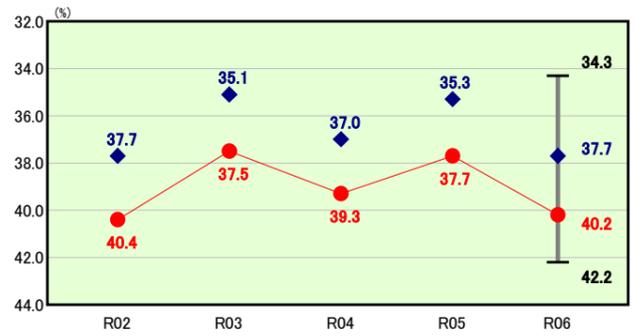
経常収支比率の分析

人口	794,252	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	783,077	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,440.64	km ²	実質公債費比率	10.6	%
歳入総額	540,929,298	千円	将来負担比率	137.2	%
歳出総額	528,311,388	千円			
実質収支	6,107,795	千円	グループ	R02 D R03 D R04 D	
標準財政規模	274,027,726	千円	(年度毎)	R05 D R06 D	
地方債現在高	737,606,809	千円			



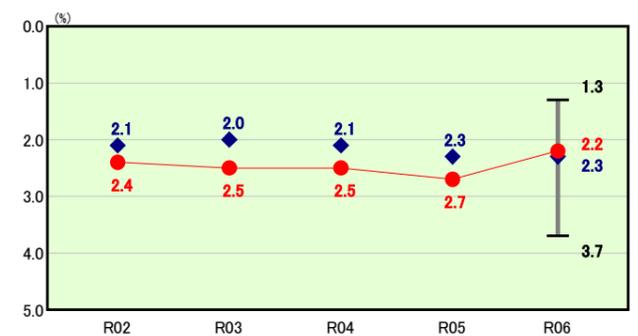
※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

人件費



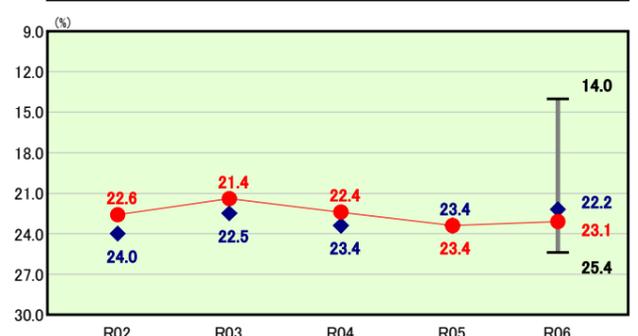
人件費の分析欄
 R6年度は、退職手当の増等により、人件費の歳出決算額が増加したことにより、経常収支比率は2.5ポイント増加している。
 グループ内平均に比べ高い割合で推移しているため、引き続き、総人件費の適切な管理に基づき、効率的で機能的な人員配置により、限られた経営資源の効果的な活用を図る。また、職員給与等においては、国や他県の状況、社会情勢の変化を踏まえ、適切な見直しを行っている。

扶助費



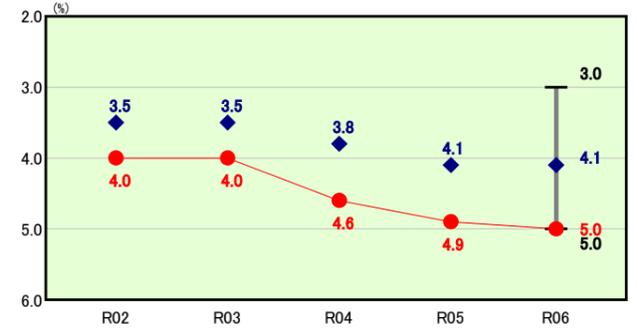
扶助費の分析欄
 R6年度から、障害児通所給付費を補助費等へ整理しなおしたことから、0.5ポイント減少している。社会保障関係経費については今後も増加が見込まれることから、その動向を注視していく。

公債費



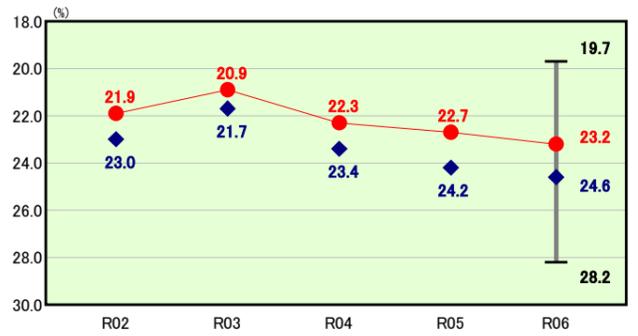
公債費の分析欄
 大型事業の実施に伴い発行した県債の償還開始に伴う元利償還金の増等により公債費の歳出決算額は増加したものの、税収の増等により経常収支比率は0.3ポイント減少している。
 グループ内平均と比較して高い水準となっているが、直近の金利環境を踏まえ借入パターンの多様化により金利リスクの分散を図るとともに、引き続き、有利な県債の活用や公債費の平準化に取り組んでい

物件費



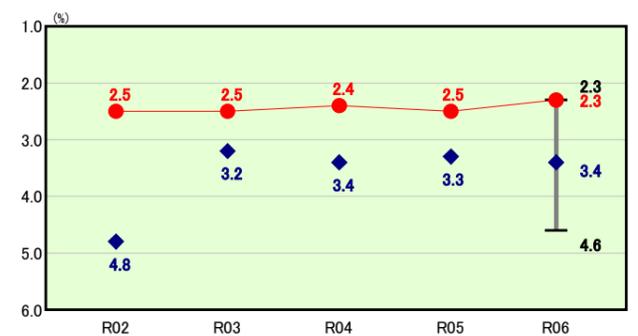
物件費の分析欄
 R6年度は、庁内情報化推進関連経費の増や防災関連無線運営費の増など、物件費の歳出決算額が増えたことにより、0.1ポイント増加している。
 グループ内平均に比べ高い割合で推移しており、事業の選択と集中や効果的な事業執行、事業の見直しを行うことで、財政健全化を図っていく。

補助費等



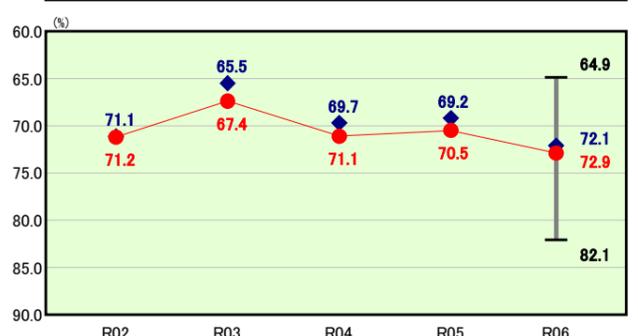
補助費等の分析欄
 R6年度は、認定こども園の増加及び公定価格の改定に伴う施設型給付費県負担金の増や障害者の増加に伴う障害者自立支援給付費県負担金の増などにより、補助費等の歳出決算額が増加したため、0.5ポイント増加している。
 補助費等の傾向としては、今後も社会保障関係経費の増加により、上昇が見込まれることから、社会保障の充実には適切に対応しつつ、

その他



その他の分析欄
 繰入金や維持補修費について、R2年度～R6年度は同程度で推移している。
 グループ内平均よりも低い割合で推移しているものの、引き続き、H27年度に策定した「佐賀県ファシリティマネジメント基本方針」に基づき、県有施設の長寿命化を図り、適切な維持管理などに努めていく。

公債費以外



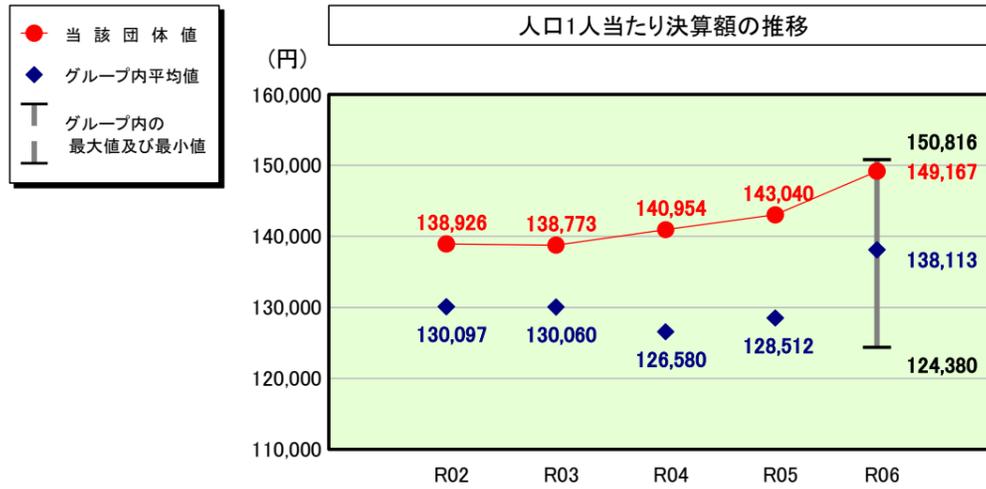
公債費以外の分析欄
 R6年度は、施設型給付費県負担金の増や障害者自立支援給付費県負担金の増などにより歳出決算額自体は増加したため、2.4ポイント増加している。
 グループ内平均と比較して高い水準となっているが、今後も、「佐賀県行財政運営計画2023」に基づき、財政健全化に努めていく。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

佐賀県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

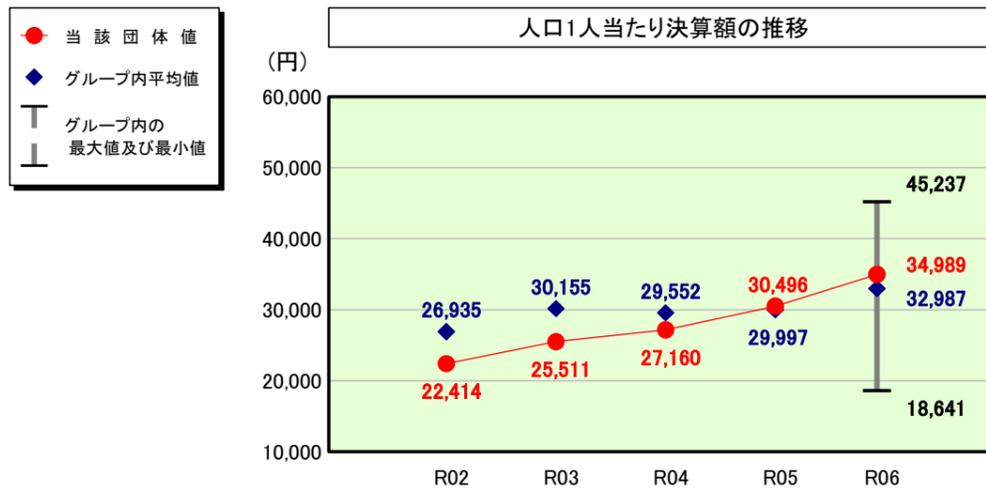
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
人件費	128,527,545	161,822	147,477	9.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	944	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	5	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,098,592	1,383	2,711	▲ 49.0
▲退職金	▲ 11,150,332	▲ 14,039	▲ 13,024	7.8
合計	118,475,805	149,167	138,113	8.0

参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,704.12	1,591.94	112.18
ラスパイレス指数	99.6	98.7	0.9

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

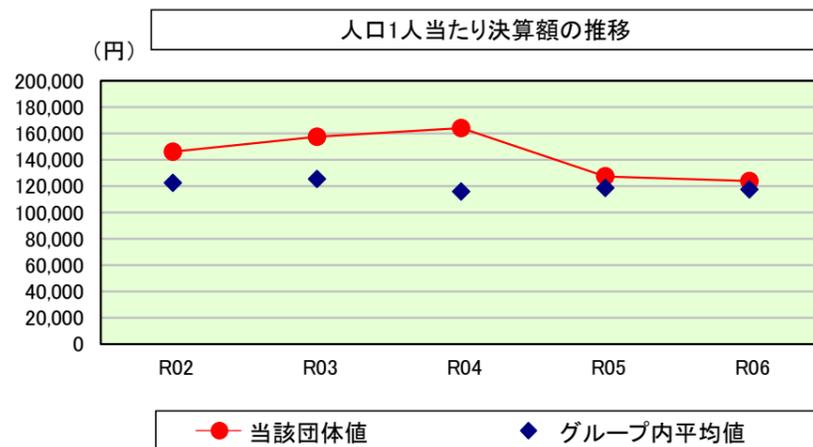
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	60,149,944	75,732	69,853	8.4
積立不足額を考慮して算定した額	298,097	375	30	1,150.0
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	3,582,976	4,511	5,819	▲ 22.5
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	13,875	17	1,779	▲ 99.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	159	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	232,915	293	420	▲ 30.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	597	1	1	0.0
▲特定財源の額	▲ 922,383	▲ 1,161	▲ 2,278	▲ 49.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 35,565,954	▲ 44,779	▲ 42,797	4.6
合計	27,790,067	34,989	32,987	6.1

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	グループ内平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
R02	119,600,377	146,166	28.4	122,371	9.7	18.7
うち単独分	50,885,939	62,189	39.0	28,038	6.8	32.2
R03	127,903,187	157,479	7.7	125,393	2.5	5.2
うち単独分	56,056,206	69,018	11.0	28,054	0.1	10.9
R04	132,390,397	164,078	4.2	115,991	▲ 7.5	11.7
うち単独分	62,823,893	77,861	12.8	28,546	1.8	11.0
R05	102,035,237	127,377	▲ 22.4	118,517	2.2	▲ 24.6
うち単独分	38,062,515	47,516	▲ 39.0	30,926	8.3	▲ 47.3
R06	98,396,871	123,886	▲ 2.7	117,465	▲ 0.9	▲ 1.8
うち単独分	40,787,512	51,353	8.1	29,995	▲ 3.0	11.1
過去5年間平均	116,065,214	143,797	3.0	119,947	1.2	1.8
うち単独分	49,723,213	61,587	6.4	29,112	2.8	3.6

(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

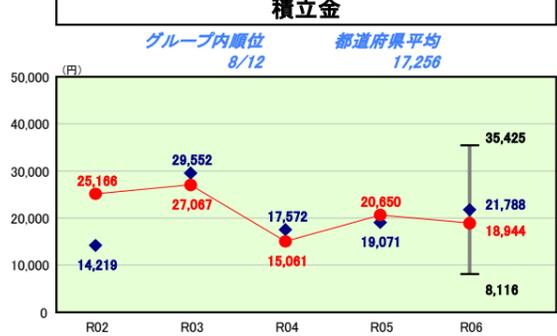
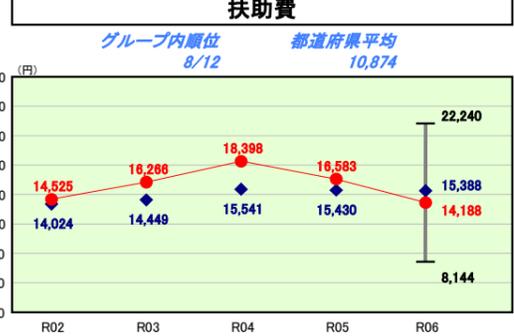
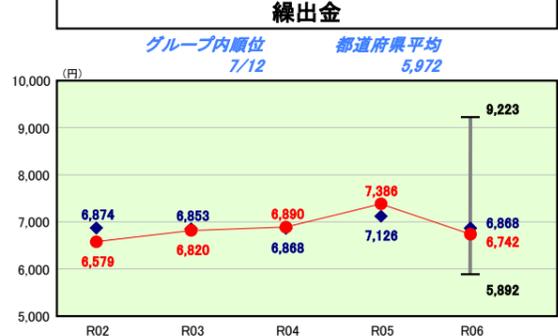
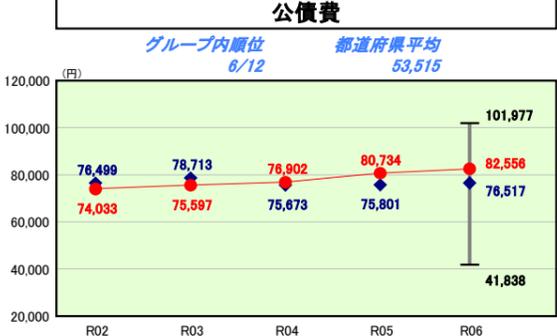
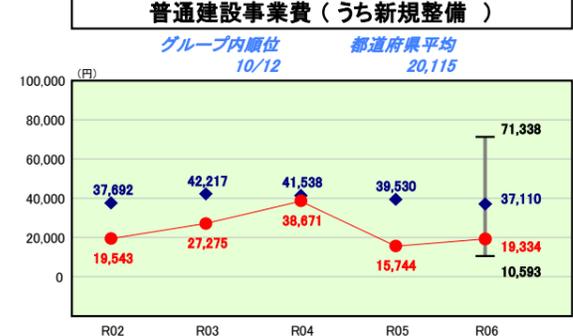
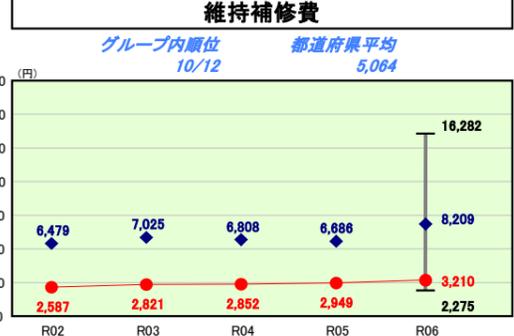
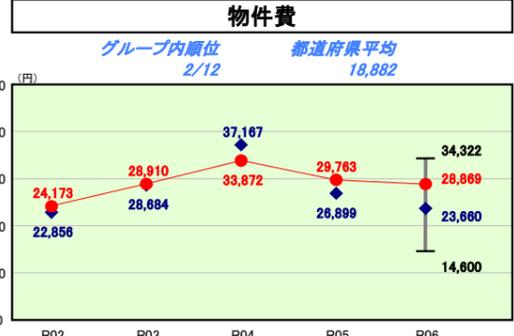
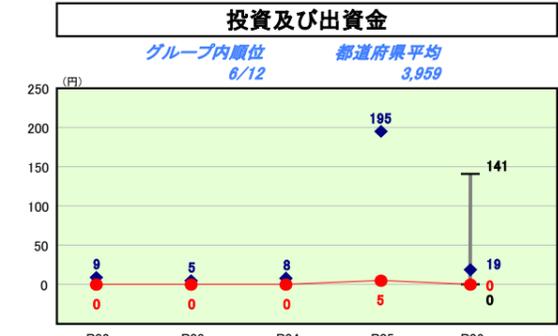
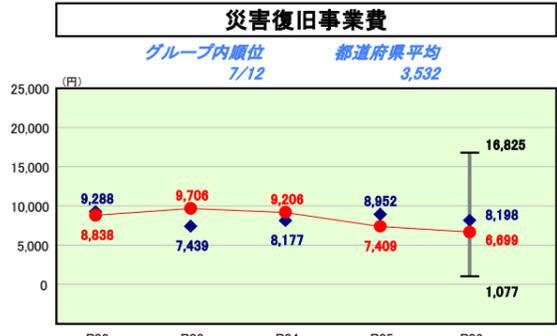
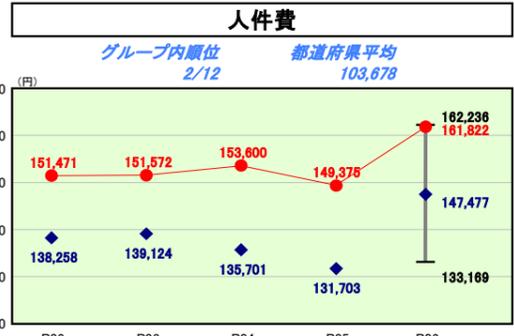
佐賀県

人口	794,252 人 (R7.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	783,077 人 (R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	2,440.64 km ²	実質公債費比率	10.6 %
歳入総額	540,929,298 千円	将来負担比率	137.2 %
歳出総額	528,311,388 千円	グループ	R02 D R03 D R04 D
実質収支	6,107,795 千円	(年度毎)	R05 D R06 D
標準財政規模	274,027,726 千円		
地方債現在高	737,606,809 千円		

● 当該団体値
◆ グループ内平均値
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

- 歳出決算の総額は、住民一人当たり665,168円となっている。
- 住民一人当たりの人件費はグループ平均に比べて高くなっているが、これは、SAGA2024国スポ・全障スポに向けて任期付き職員等を積極的に採用したことや、同一グループ内において人口規模が小さいことが主な要因である。
- 物件費、扶助費については、R2年度から、新型コロナウイルス感染症に対応するための事業実施に伴い高い水準で推移してきたが、R5年度に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、事業が縮小したことにより、減少傾向になっている。
- 補助費等についても、物件費、扶助費と同様に新型コロナウイルス感染症に対応するための事業実施に伴いR2年度から高い水準で推移し、R5年度以降は減少傾向となっていたが、R6年度においてはSAGA2024国スポ・全障スポが開催されたことにより、前年度に比べて住民一人当たりのコストが増加している。
- 公債費については、住民一人当たり82,556円となっており、前年度に比べて住民一人当たりのコストが増加している。これは、大型事業等の元利償還金の増などが主な要因である。
- 貸付金については、住民一人当たり64,158円となっており、前年度に比べて住民一人当たりのコストが減少している。これは、新型コロナウイルス感染症対応の中小企業事業資金貸付金が減少したことが主な要因である。

(6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

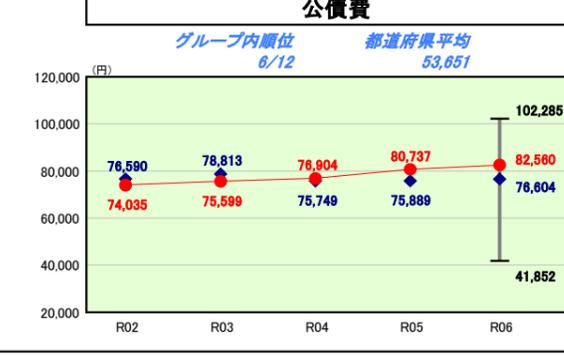
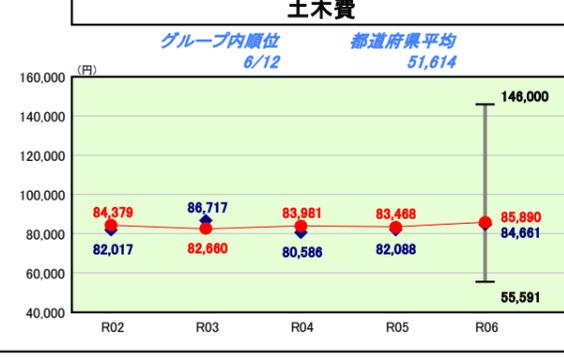
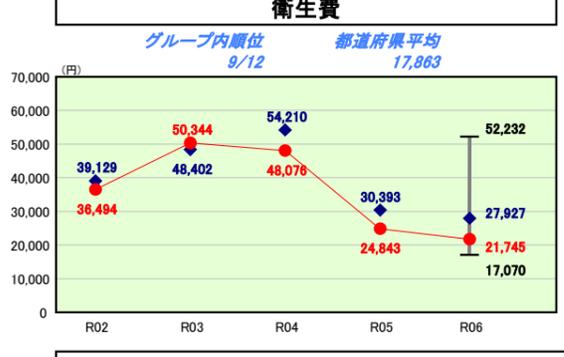
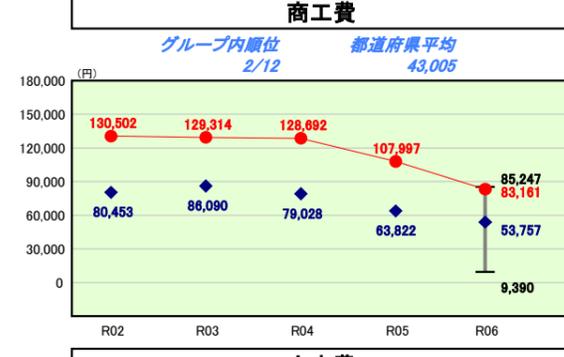
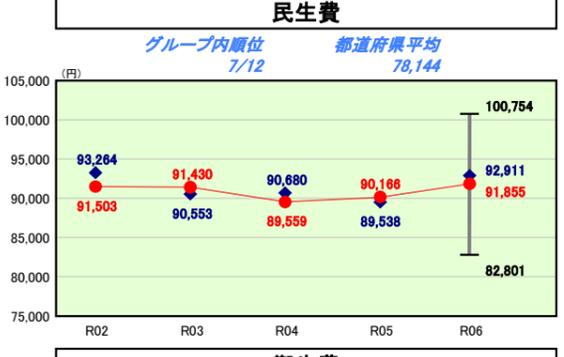
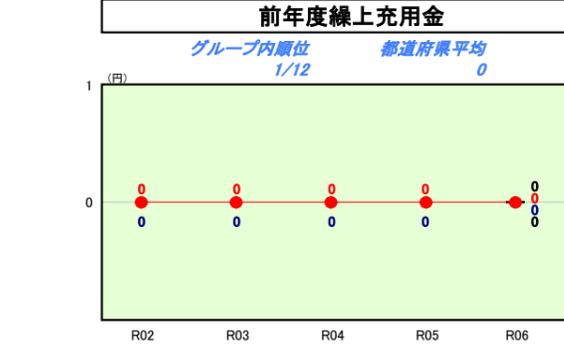
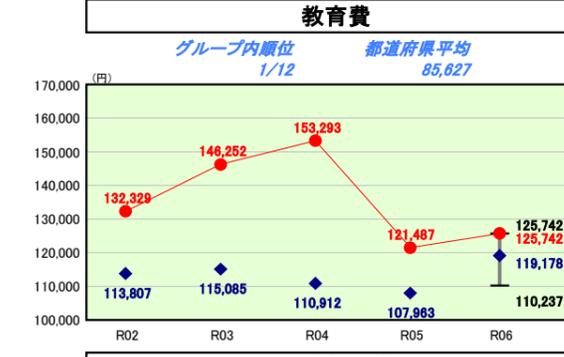
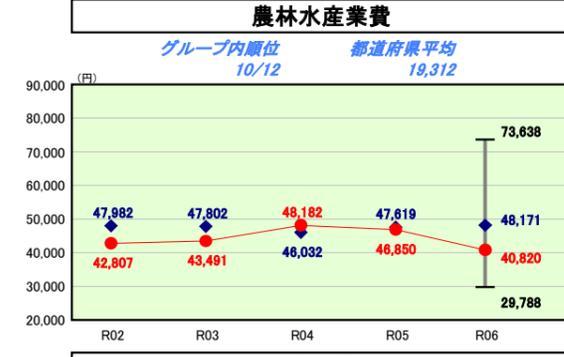
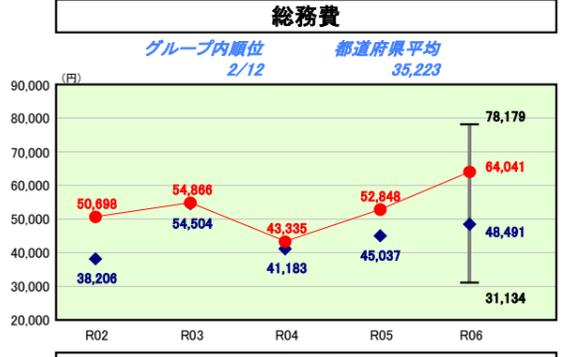
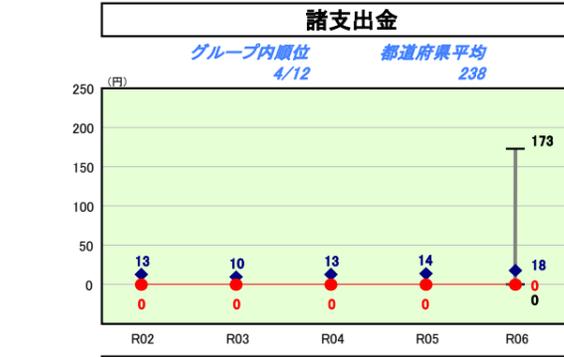
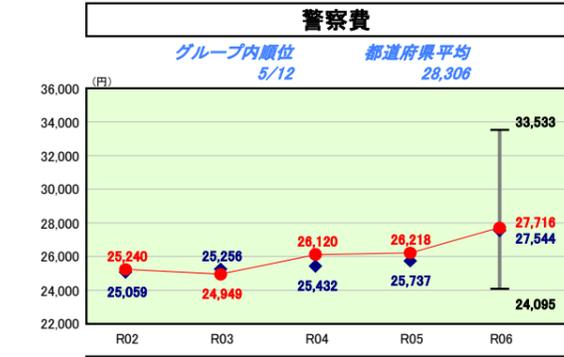
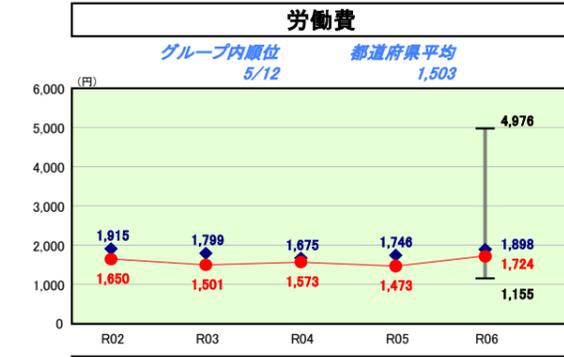
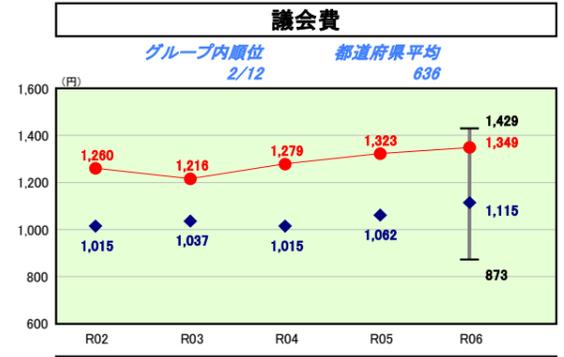
佐賀県

人口	794,252人 (R7.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	783,077人 (R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	2,440.64 km ²	実質公債費比率	10.6 %
歳入総額	540,929,298千円	将来負担比率	137.2 %
歳出総額	528,311,388千円	グループ	R02 D R03 D R04 D
実質収支	6,107,795千円	(年度毎)	R05 D R06 D
標準財政規模	274,027,726千円		
地方債現在高	737,606,809千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

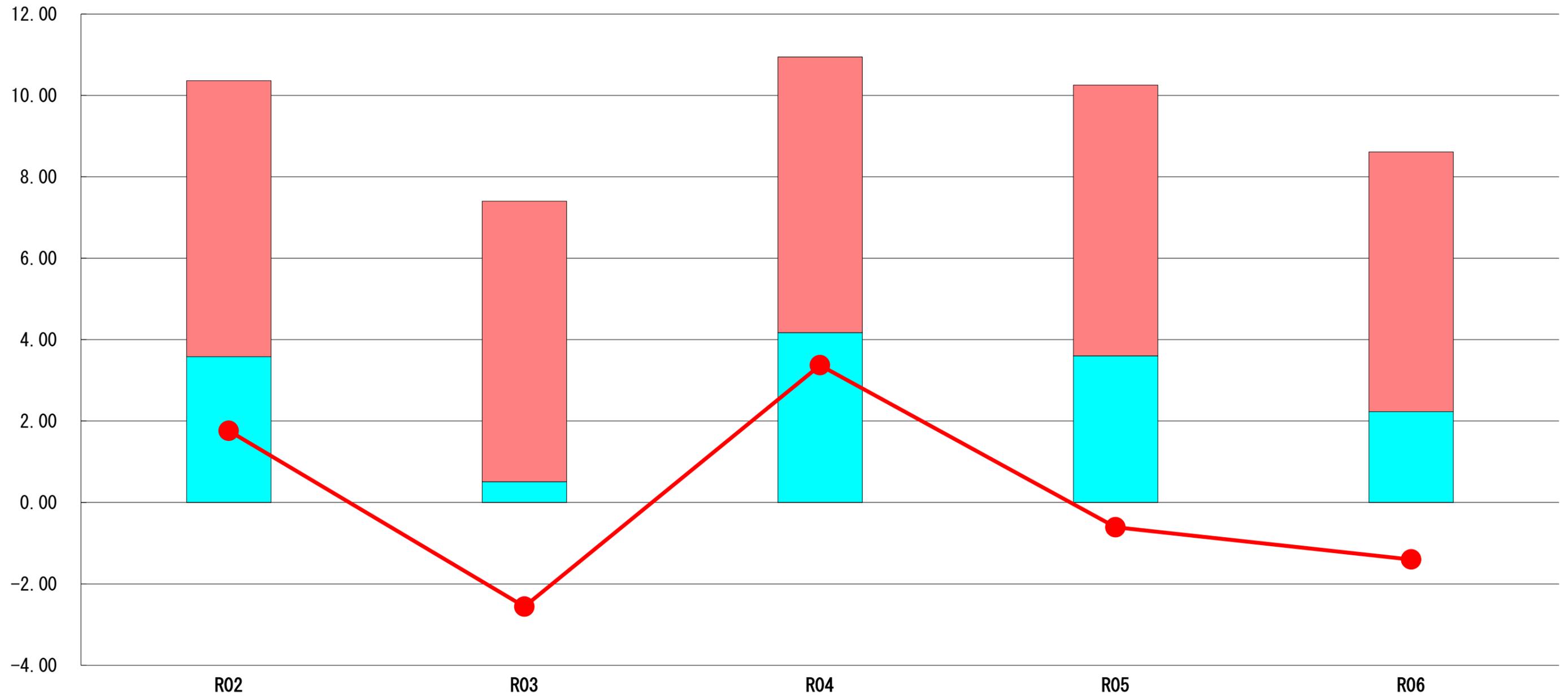
- ・総務費は住民一人当たり64,041円となっており、前年度に比べて住民一人当たりのコストが増加している。これは、SAGA2024国スポ・全障スポ開催や地方消費税市町交付金の増などが主な要因である。
- ・商工費は住民一人当たり83,161円となっており、前年度に比べて住民一人当たりのコストが減少しているが、グループ内平均と比べて高い水準となっている。これは、令和2年度に新型コロナウイルス感染症対応の中小企業事業資金貸付金が増加したことが主な要因である。
- ・警察費は住民一人当たり27,716円となっており、前年度に比べて住民一人当たりのコストが増加している。これは、給与改定に伴う人件費の増などが主な要因である。
- ・教育費は住民一人当たり125,742円となっており、前年度に比べて住民一人当たりのコストが増加している。これは、定年延長に伴う退職手当の増などが主な要因である。
- ・公債費は住民一人当たり82,560円となっており、前年度に比べて住民一人当たりのコストが増加している。これは、大型事業等の元利償還金の増などが主な要因である。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

令和6年度

佐賀県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		6.78	6.89	6.77	6.65	6.38
 実質収支額		3.58	0.51	4.17	3.60	2.23
 実質単年度収支		1.76	▲ 2.56	3.37	▲ 0.61	▲ 1.40

分析欄

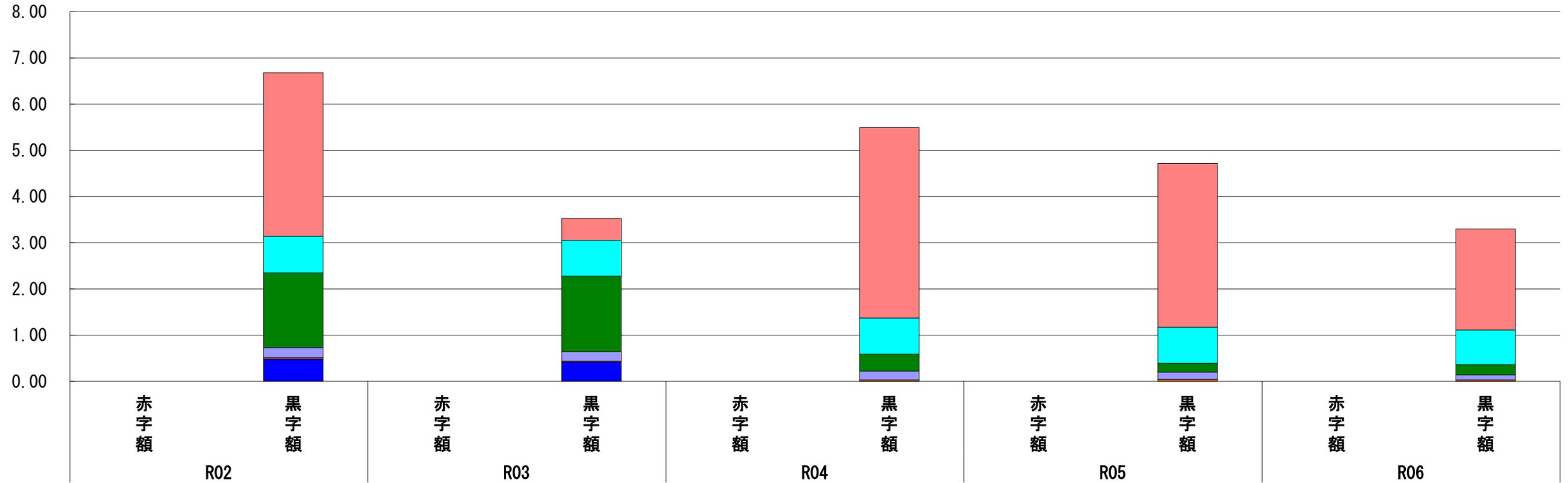
「佐賀県行財政運営計画2023」の取組方針に基づき、一定額の基金残高の確保に努めており、概ね計画通りの基金残高が確保できる見込みである。
 実質収支額は、昭和51年度以降黒字となっている。令和6年度は、コロナ禍前とほぼ同規模である。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

令和6年度

佐賀県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
一般会計		3.54	0.48	4.12	3.55	2.19
佐賀県工業用水道事業会計		0.79	0.77	0.78	0.78	0.75
国民健康保険事業特別会計		1.62	1.64	0.37	0.19	0.22
佐賀県港湾整備事業特別会計		0.22	0.20	0.19	0.16	0.11
証紙特別会計		0.03	0.02	0.03	0.04	0.03
災害救助基金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
母子父子寡婦福祉資金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
就農支援資金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.48	0.42	0.00	0.00	0.00

分析欄

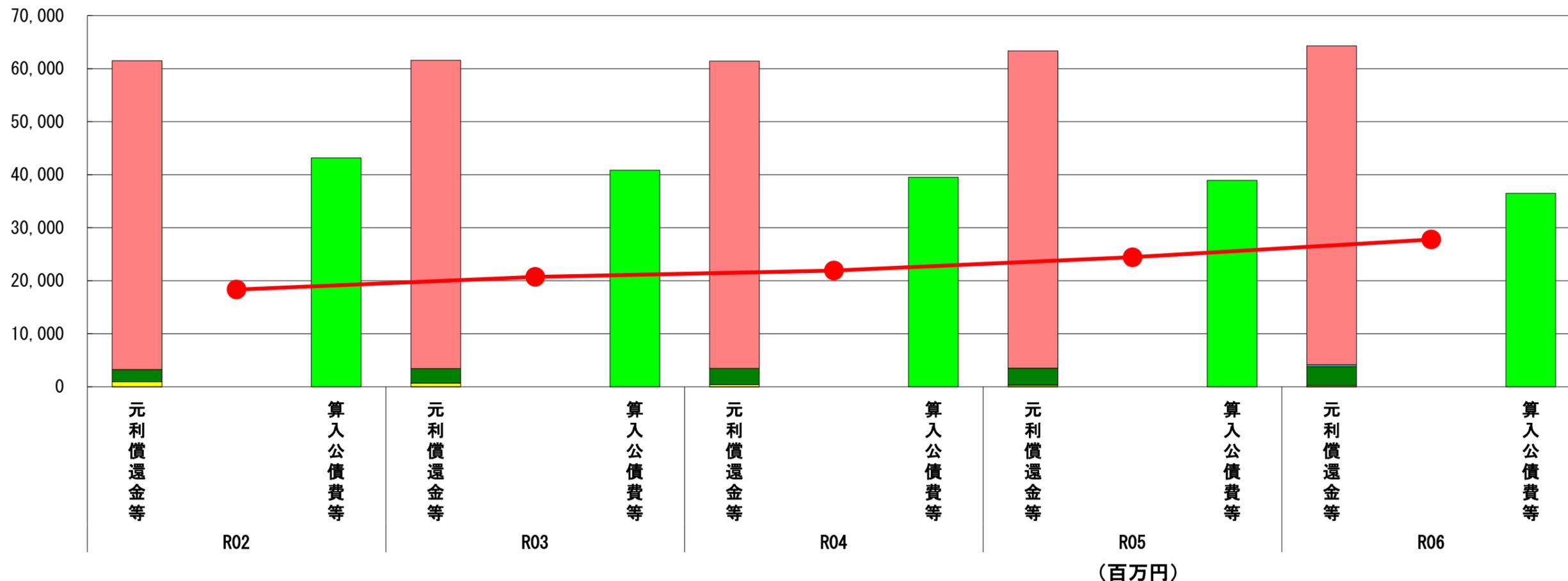
いずれの会計も黒字であり、連結実質赤字比率は発生していない。
 一般会計の実質収支比率は、コロナ禍前とほぼ同規模となっている。
 一定の財政健全化は確保できているが、「佐賀県行財政運営計画2023」に基づき、引き続き持続可能な財政運営を行っていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

令和6年度

佐賀県

(百万円)



分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		58,255	58,153	57,984	59,848	60,150
	減債基金積立不足算定額※		-	-	-	-	298
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		2,333	2,750	3,083	3,192	3,583
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	0	0	8	14
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		911	681	376	274	233
	一時借入金の利子		9	2	1	29	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		43,168	40,865	39,530	38,922	36,488
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		18,340	20,721	21,914	24,429	27,791

分析欄

元利償還金が増加したことに加え、算入公債費等が減少したことから、実質公債費比率の分子は増加した。元利償還金の増加は、大型事業等の償還が始まったことなどが主な要因である。

今後は大型事業の実施に伴い発行した県債の償還開始に加え、最近の地方債金利の上昇も重なり今後も公債費は高い水準で推移することが見込まれるため、引き続き、有利な県債の活用や公債費の平準化に取り組むとともに、直近の金利環境を踏まえ借入パターンの多様化により金利リスクの分散を図ることで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等 (注)		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		0	0	0	0	3,333
	前年度末減債基金残高 (D)		3,529	5,882	9,164	13,230	15,328
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		7,000	9,333	12,083	15,875	15,249

分析欄

減債基金積立相当額の積立ルールが30年償還で毎年度の積立額を発行額の30分の1として設定しているのに対して、本県においては主に17年償還（3年据置）で毎年度の発行額の積立額を17分の1として設定しているため、減債基金

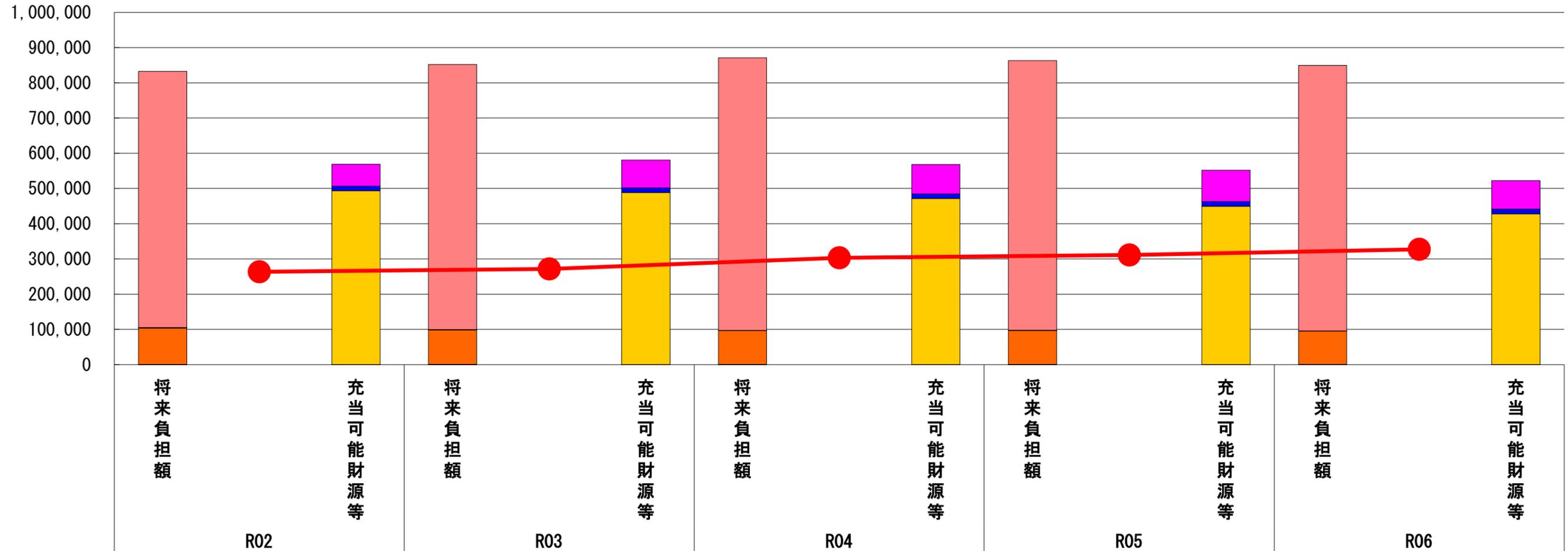
(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

令和6年度

佐賀県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		727,236	752,966	774,249	765,466	753,835
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,694	1,085	775	593	445
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		102,958	97,549	95,960	96,719	94,564
	設立法人等の負債額等負担見込額		460	304	388	370	562
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	412	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		62,336	78,774	83,749	89,025	80,557
	充当可能特定歳入		13,048	13,473	12,642	13,236	13,608
	基準財政需要額算入見込額		493,511	488,386	471,732	449,677	427,999
(A) - (B)	将来負担比率の分子		263,453	271,683	303,250	311,209	327,242

分析欄

将来負担額 (A) のうち、一般会計等に係る地方債の現在高が減少した一方、充当可能財源等 (B) のうち、基準財政需要額算入見込額が減少したことにより、将来負担比率の分子 (A) - (B) は増となった。

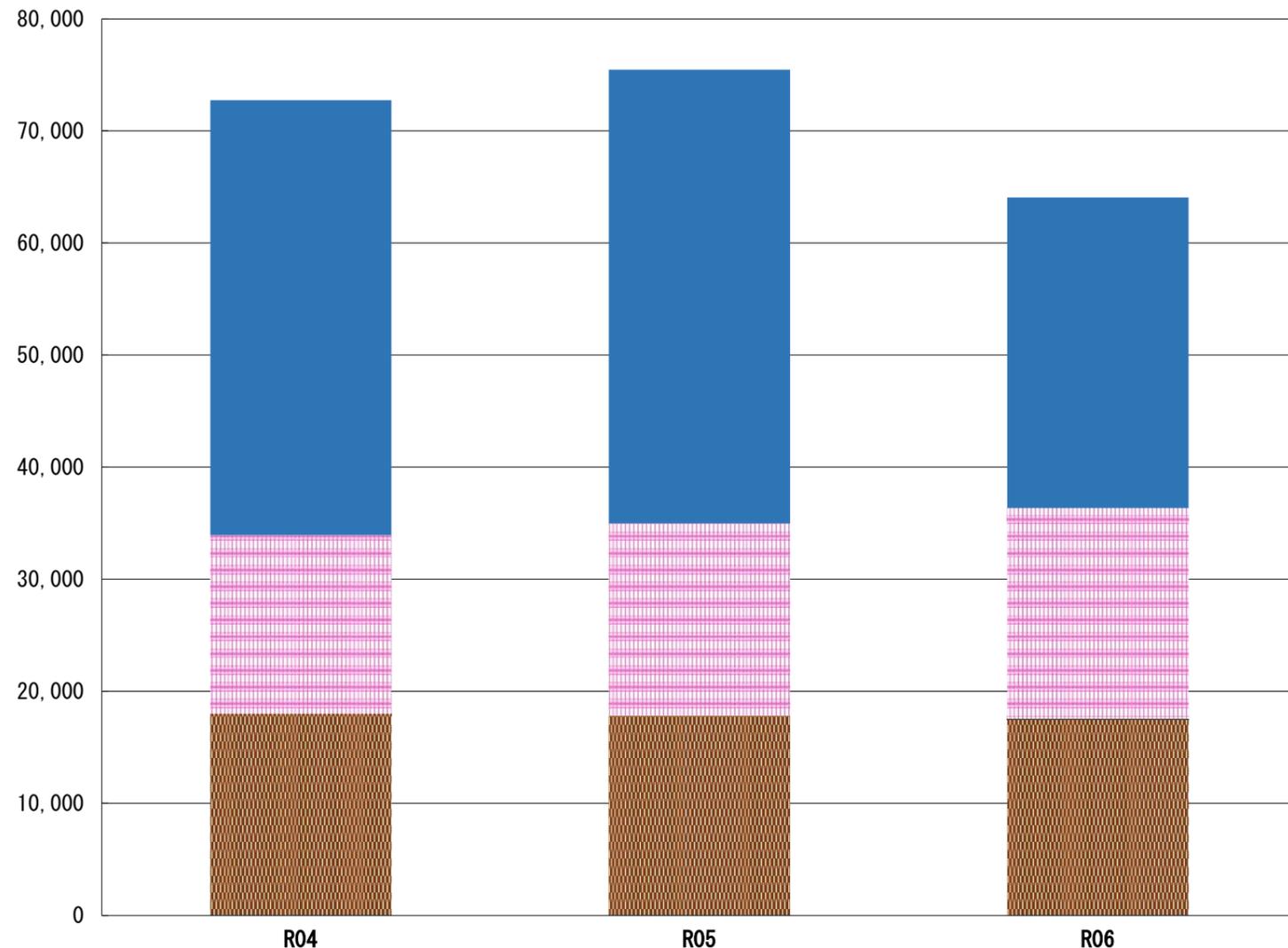
一般会計等に係る地方債の現在高の減少は年度経過に伴い、臨時財政対策債や財源対策債等が減少したことが主な要因である。

基準財政需要額算入見込額の減少は、年度経過に伴い、臨時財政対策債や事業費補正の算入額が減少したことが主な要因である。

今後、社会保障関係経費の増嵩や、物価や人件費の高騰、金利上昇に伴う公債費の増などにより歳出の増加が見込まれるため、引き続き、県税収入をはじめとする歳入確保対策の強化や徹底した歳出の見直し等を行うことで、安定的かつ弾力的な財政運営に取り組む。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		18,004	17,797	17,483
減債基金		15,929	17,166	18,854
その他特定目的基金		38,801	40,493	27,717
大規模施設整備基金		11,841	12,044	11,156
SSP構想推進基金		9,743	10,887	3,121
地域医療介護総合確保基金		3,156	2,632	1,889
後期高齢者医療財政安定化基金		1,659	1,660	1,660
発電用施設周辺地域振興基金		2,275	1,600	1,398
基金残高合計		72,734	75,456	64,054

令和6年度

佐賀県

基金全体

（増減理由）

減債基金に66億円、財政調整積立金に決算剰余金等を48億円を積み立てた。
一方、SSP構想推進基金を82億円、財政調整積立金を51億円、公債費償還のため減債基金を49億円、退職手当を25億円取り崩したこと等により、基金全体として114億円の減となった。

（今後の方針）

特定目的基金を戦略的に活用していくとともに、収支改善の取組を進め、令和8年度末（2027年3月末）の財政調整積立金の残高について、約130億円（標準財政規模の5%程度）を確保する目標とする。

財政調整基金

（増減理由）

収支調整のため51億円を取崩した一方、決算剰余金等を48億円積み立てたことにより、全体として3億円の減となった。

（今後の方針）

特定目的基金を戦略的に活用していくとともに、収支改善の取組を進め、令和8年度末（2027年3月末）の財政調整積立金の残高について、約130億円（標準財政規模の5%程度）を確保する目標としている。

減債基金

（増減理由）

公債費償還のため、49億円を取崩した一方、66億円積み立てたことにより、全体として17億円の増となった。

（今後の方針）

今後の公債費の増加に対応するため取り崩す予定。

その他特定目的基金

（基金の用途）

- ・大規模施設整備基金：県が設置する大規模な公用又は公共用の施設の整備
- ・SSP構想推進基金：国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の円滑な運営（～R6）及びSAGAスポーツピラミッド構想の推進に資する
- ・地域医療介護総合確保基金：地域における医療及び介護の総合的な確保のための事業の実施
- ・後期高齢者医療財政安定化基金：後期高齢者医療の財政の安定化に資する
- ・発電用施設周辺地域振興基金：発電用施設の設置、運転の円滑化に要する経費に充てる

（増減理由）

- ・SSP構想推進基金：国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の開催により78億円の減（令和6年度末残高31億円）
 - ・退職手当基金：定年延長による退職手当の平準化を図るための取り崩しにより25億円の減（令和6年度末残高0.3億円）
 - ・大規模施設整備基金：公債費の償還等により9億円の減（令和6年度末残高112億円）
 - ・地域医療介護総合確保基金：多久・小城地区新公立病院施設整備事業等により7億円の減（令和6年度末残高19億円）
- 等により、その他特定目的基金全体としては128億円の減となった。

（今後の方針）

- ・退職手当の支給に要する経費に充てるため、令和7年度中に退職手当基金を25億円積み立てる予定。